

1. 富山県ビオトープ協同組合との東北地区先進地視察

東北大震災後の復興状況の視察も兼ねて、7月17日（金）～7月19日（土）にかけて8名のメンバーと共に、岩手県及宮城県のビオトープ先進地を訪問した。

岩手県では、当協会 野澤副会長のご親切なサポートにより、岩手県立大学調整池ビオトープ（第4回ビオトープ大賞受賞）小岩井農場まきば園ビオトープ（第5回ビオトープ顕彰審査委員長賞受賞）を視察した。何れも野澤副会長に御同行頂き、岩手県立大学では担当教官である、平塚明教授（当協会特任顧問）及辻盛生准教授より詳細な説明を受け質問にも熱心に答えて頂いた。

また小岩井農場まきば園ビオトープは野澤副会長自らのご説明で分かりやすく興味のある内容であった。

宮城県では仙台市立栗生小学校ビオトープを視察し、担当の佐藤義春先生(当協会員)が設計された東北文化学園大学の増田豊文准教授より詳しい説明を受け、又資料としてビオトープのDVDを2枚（各人）頂き、一同大変充実したビオトープ先進地視察研修となった。



2. 射水市ビオトープ協会との実地研修会 「地域の生態系の保全について」

射水市ビオトープ協会(理事長 岡田一雄氏(当協会員))では、6月21日(土)AM10:00より、昨年施工した射水市青井谷地区のビオトープに於いて、実地研修を開催した。当協会員2名を含む8名の参加の元に池にかかる枝に生みつけられたモリアオガエルの卵塊やイモリやトンボのヤゴなどの水生昆虫を確認し、一年経過後の生態系の復元について学んだ。又、同日 別会場にて総会に併せて記念講演会が開催され、金子芳治氏と田村正次氏を講師としてむかえ「春の水辺の生き物 in 射水」と題した講演があった。

また射水市ビオトープ協会では6月14日(土)にも19:00より射水市金山小学校に於いて、富山県ホタルの会の山下ちか子氏(当協会員)をむかえてホタル観賞の指導の元にホタル観賞会とホタルの研修会を開催し、講師に榎岡勝英先生をむかえ「発光生物の不思議」と題した講演があった。

